

新興ウイルス感染症学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Yoshikawa, R., Sakabe, S., Urata, S., and *Yasuda, J.: Species-specific pathogenicity of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus is determined by anti-STAT2 activity of NSs. Journal of Virology, in press (IF=4.368).
2. Oloniniyi, O.K., Unigwe, U.S., Okada, S., Kimura, M., Koyano, S., Miyazaki, Y., Iroezindu, M.O., Ajayi, N.A., Chukwubike, C.M., Chika-Igwenyi, N.M., Ndu, A.C., Nwidi, D.U., Abe, H., Urata, S., Kurosaki, Y., and *Yasuda, J.: Genetic characterization of Lassa virus strains isolated from 2012 to 2016 in southeastern Nigeria. PLOS Neglected Tropical Diseases, 12(11): e0006971, 2018 (IF=4.367)
3. Arima, A., Harlisa, I.H., Yoshida, T., Tsutsui, M., Tanaka, M., Yokota, K., Tonomura, W., Yasuda, J., Taniguchi, M., Washio, T., Okochi, M., and Kawai, T.: Identifying Single Viruses Using Biorecognition Solid-State Nanopores. Journal of the American Chemical Society, 140: 16834-16841, 2018 (IF= 14.357)
4. Urata, S., Kenyon, E., Nayak, D., Cubitt, B., Kurosaki, Y., Yasuda, J., de la Torre, J.C., and McGavern, D.B.: BST-2 controls T cell proliferation and exhaustion by shaping the early distribution of a persistent viral infection. PLOS Pathogens, 14(7): e1007172, 2018 (IF=6.957)
5. Urata, S., Uno, Y., Kurosaki, Y., and *Yasuda, J.: The cholesterol, fatty acid and triglyceride synthesis pathways regulated by site 1 protease (S1P) are required for efficient replication of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus. Biochem Biophys Res Commun, 503(2):631-636, 2018 (IF=2.559)
6. Kurosaki, Y., Takahashi-Ueda, M., Nakano, Y., Yasuda, J., Koyanagi, Y., Sato, K., and Nakagawa, S.: Different effects of two mutations on the infectivity of Ebola virus glycoprotein in nine mammalian species. Journal of General Virology, 99(2):181-186, 2018 (IF=3.192)
7. Koide R*, Yoshikawa R*, Okamoto M, Sakaguchi S, Suzuki J, Isa T, Nakagawa S, Sakawaki H, Miura T, Miyazawa T. Experimental infection of Japanese macaques with simian retrovirus 5. Journal of General Virology, 100(2):266-277, 2019 (IF=3.192). *Equal contributions

B 邦文

B-c

1. 安田二郎：「ラッサ熱と南米出血」グローバル時代のウイルス感染症（西條政幸編）、pp144-147、日本医事新報社、東京、2019
2. 安田二郎：「中東呼吸器症候群（MERS）」「バイオセーフティと病原微生物の取り扱い」、標準微生物学 第13版（中込治、神谷茂編）、医学書院、東京、2018
3. 谷 英樹、浦田秀造：アレナウイルスの基礎と抗ウイルス薬の現状、ウイルス、68(2), 51-62, 2018

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
3	0	5	5	4	6

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
安田二郎・教授	評議員	九州ウイルス学会
安田二郎・教授	評議員	日本熱帯医学会
安田二郎・教授	専門委員	日本学術振興会科学研究費委員会
安田二郎・教授	プログラム委員	第59回日本熱帯医学会大会
安田二郎・教授	「感染症研究拠点の形成に関する検討委員会」委員	内閣官房
安田二郎・教授	牛白血病感染・発症抵抗性牛の指標開発事業 アドバイザー	日本中央競馬会（JRA）

安田二郎・教授	スーパーサイエンスハイスクール研修 アドバイザー	大分県立大分舞鶴高等学校
安田二郎・教授	スーパーグローバルハイスクール課題研究 アドバイザー	長崎県立東高等学校
黒崎陽平・助教	Tropical Medicine and Health 編集委員	日本熱帯医学会

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
安田二郎・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) / JICA	代表	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) 「公衆衛生上問題となっているウイルス感染症の把握と実験室診断法の確立」
安田二郎・教授	AMED	代表	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「ウイルス性出血熱に対する治療・診断・予防法等の開発に向けた研究」
安田二郎・教授	AMED	分担	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「国内侵入・流行発生が危惧される昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策に資する開発研究」
安田二郎・教授	AMED	分担	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「高病原性ウイルス感染症に対する治療・予防法の開発研究: ワクチン及び動物モデル開発」
黒崎陽平・助教	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金「ハイスループットシーケンサーによる網羅的ウイルス検出法の確立とその臨床応用」
浦田秀造・助教	AMED	代表	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルスの表面糖タンパク質開裂解析を通しての創薬標的検証
浦田秀造・助教	日本学術振興会	代表	ウイルス粒子形成・出芽機構の多様性解析
吉川禄助・助教	武田財団	代表	SFTSV の病原性獲得機構の解明と新規抗 SFTSV 薬剤の探索

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関係機関名
安田二郎・教授	Emerging and Reemerging Viral Diseases	聖路加国際大学公衆衛生大学院国際感染症学

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
安田二郎・教授	狙われるニッポン 先端技術で守れ	日経 XTECH	2018年 4月23日	炭疽菌郵送事件とオウム事件に見るバイオテロの脅威: 生物剤テロの脅威と対策、科警研のバイオテロ対策室・初代室長に聞く (前編)

安田二郎・教授	狙われるニッポン 先端技術で守れ	日経 XTECH	2018年 4月24日	米国頼みを卒業、生物剤検知システムを独自開発した理由：生物剤テロの脅威と対策、科警研のバイオテロ対策室・初代室長に聞く（後編）
安田二郎・教授		長崎新聞	2018年 7月25日	長崎大など開発 ～「ジカ熱」診断の検査試薬を承認～
安田二郎・教授		NHK ニュース	2018年 7月25日	長崎大がジカ熱検査薬を初開発
安田二郎・教授		日経デジタルヘルス	2018年 7月25日	ジカ熱ウイルスを従来法の1/3の時間で検出するキット～長崎大学とキャノンメディカルが共同開発～
安田二郎・教授	SATREPS “公衆衛生上問題となっているウイルス感染症の把握と実験室診断法の確立”	ガボン国営放送	2018年 9月13日	ガボン国内でのプロジェクト及びプロジェクトで導入したBSL-2/3実験施設、機器の紹介
安田二郎・教授	SATREPS “公衆衛生上問題となっているウイルス感染症の把握と実験室診断法の確立”	ユニオン紙(ガボン)	2018年 9月13日	ガボン国内でのプロジェクト及びプロジェクトで導入したBSL-2/3実験施設、機器の紹介